土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　砂防指定地内河川　鍋屋谷川　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）　一級河川　江の川水系　鍋屋谷川

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.1	**調査位置**	広島県三次市粟屋町			**北緯**	34° 47′ 44.9115″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2021年 12月 21日 ～ 2021年 12月 21日	**東経**	132° 49′ 54.8488″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 222.35m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 39°
総削孔長	5.00m					**使用機種**	

試錐機	東邦地下工機　D1-C48		
エンジン	ヤンマー　NFD-12	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	221.15	1.20		砂質シルト		暗褐		rc1	新生代第四紀完新世	崖錐堆積物に相当する土砂層。全体に表土化が著しい。均質ではあるが，所々にφ10mm以下，maxφ40mmの礫分を混入する。1m貫入試験は，予備打ち区間1.20mまでモンケン自沈する。	
	220.80	1.55		強風化流紋岩		淡朱灰			中生代白亜紀	角礫状コアを呈す。岩片は中硬質であるが，貫入試験は十分に受け付ける。【DL級，礫混じり土に相当する】	
2				風化流紋岩		淡黄灰				見掛け棒状を呈するが，ヘアークラックが密に発達し，実体としては角礫～岩片状コアである。岩芯風化しており，全体に軟質である。貫入試験も受け付ける。割れ目は高角のものが多く，やや強く砕片化を伴っている。【DH級，軟岩Ⅰに相当する】	
3	218.70	3.65									
4				風化流紋岩		黄灰				岩芯風化の程度が弱まり，ヘアークラックも少なくなる。L=10cm程度以下の短柱状コアが主体をなす。4.4～4.8m間，弓張状の割れ目に沿って，内側が小割れしている。孔底まで風化程度に変化はない。孔底まで孔内水位は認ず。【CL級，軟岩Ⅰに相当する】	
5	217.35	5.00									12/21

標準貫入試験

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.20							
1.50	22	4	7	11	22/300		
2.00	136	41	9/10		50/110	110	
2.11							
3.00	107	33	17/40		50/140	140	
3.14							
4.00		貫入不能			50/0		
4.00							
5.00		貫入不能			50/0		
5.00							

深度－N値図　0　10　20　30　40　50

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験	室内試験	削孔月日
					12/21